

(様式 1) ≪記載例≫

建設汚泥の工事間利用に関する確認書

平成18年〇月〇日

甲 △△地方整備局●×事務所長 印

乙 △△地方整備局×△事務所長 印

甲及び乙は、下記の通り、甲発注工事において発生する建設汚泥を、乙発注工事において建設汚泥処理土として利用する予定であることについて、確認する。

建設汚泥の 排出を予定 している工 事 (甲発注)	工事件名		□■雨水幹線築造工事	
	工事場所		〇〇県△△市□□-□□	
	工事概要		延長■□m、管径〇●mm 開削・推進工法	
	担 当 者	部課係名	△△地方整備局●×事務所××課	
		担当者名	国土 太郎	
		連絡先	TEL : (〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail : ***@***.mlit.go.jp	
建設汚泥処 理土の利用 を予定して いる工事 (乙発注)	工事件名		〇〇川堤防工事	
	工事場所		〇〇県▲▲市■-■	
	工事概要		幅〇m、延長△m、面積□ha	
	担 当 者	部課係名	△△地方整備局×△事務所〇〇課	
		担当者名	交通 次郎	
		連絡先	TEL : (●●) ●●●-●●●● E-mail : ****@***.mlit.go.jp	
工事間利用 の概要	工事間利用 の概要	排出予定量	◇◆ m ³ (t)	
		利用予定量	◆◇ m ³ (t)	
	排出予定時期	平成18年●●月 ~ 平成△△年▲▲月		
	利用予定時期	平成18年●〇月 ~ 平成△▲年▲△月		
	利用用途	〇〇川堤防用築堤材		
	処理土の品質	第☆種改良土		

※工事間利用予定量、排出・利用予定時期は、本工事間利用に関係する分のみである

(様式2) 《記載例1》

同一現場内での例

建設汚泥再生利用計画書（自ら利用）

作成日 平成18年×月△日

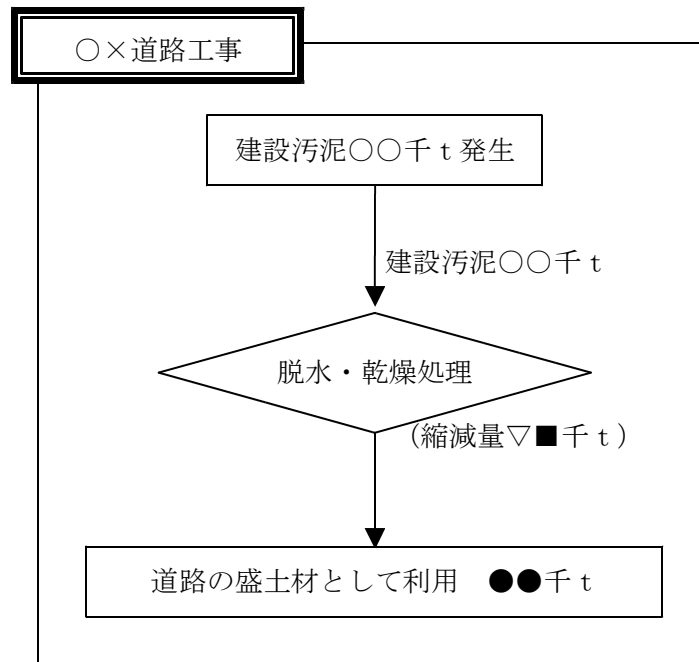
排出事業者	会社名	株式会社○×建設	
	所在地	○○県○△市□□-□□	
	担当	部課係名	△△部××課
		担当者名	建設 太郎
者	連絡先	TEL : (◇◇) ◇◆◇-◇◆◇◆	
発生工事	工事件名	○×道路工事	
	工事場所	××県△△市○○-○○	
	工事概要	総延長○m（土工部△m、橋梁部×m）	
	発注機関名	×●地方整備局□△事務所	
	発生予定量	○○千 m ³ (t)	
	発生予定時期	平成18年○○月 ~ 平成▲▲年△△月	
利用工事	工事件名	同上	
	工事場所	同上	
	工事概要	同上	
	発注機関名	同上	
	利用予定量	●●千 m ³ (t)	
	利用予定時期	平成18年●●月 ~ 平成△△年▲▲月	
	利用用途	道路の盛土材	
処理の概要	中間処理の場所・方法	場所：現場内 処理方法：脱水・乾燥	
	再生品の品質	第★種改良土	
	収集運搬の委託先		

	排出事業者	排出工事発注者	利用工事発注者
担当者印 又はサイン	排出 一郎	国土 太郎	交通 次郎

※発生から再生利用に至るフロー図を併せて作成すること

発生予定量、発生予定時期等は、本自ら利用に関係する部分のみである

(様式 2 フロー図) ≪記載例 1≫



(様式2) 《記載例2》

他現場での利用例

建設汚泥再生利用計画書（自ら利用）

作成日 平成18年×月△日

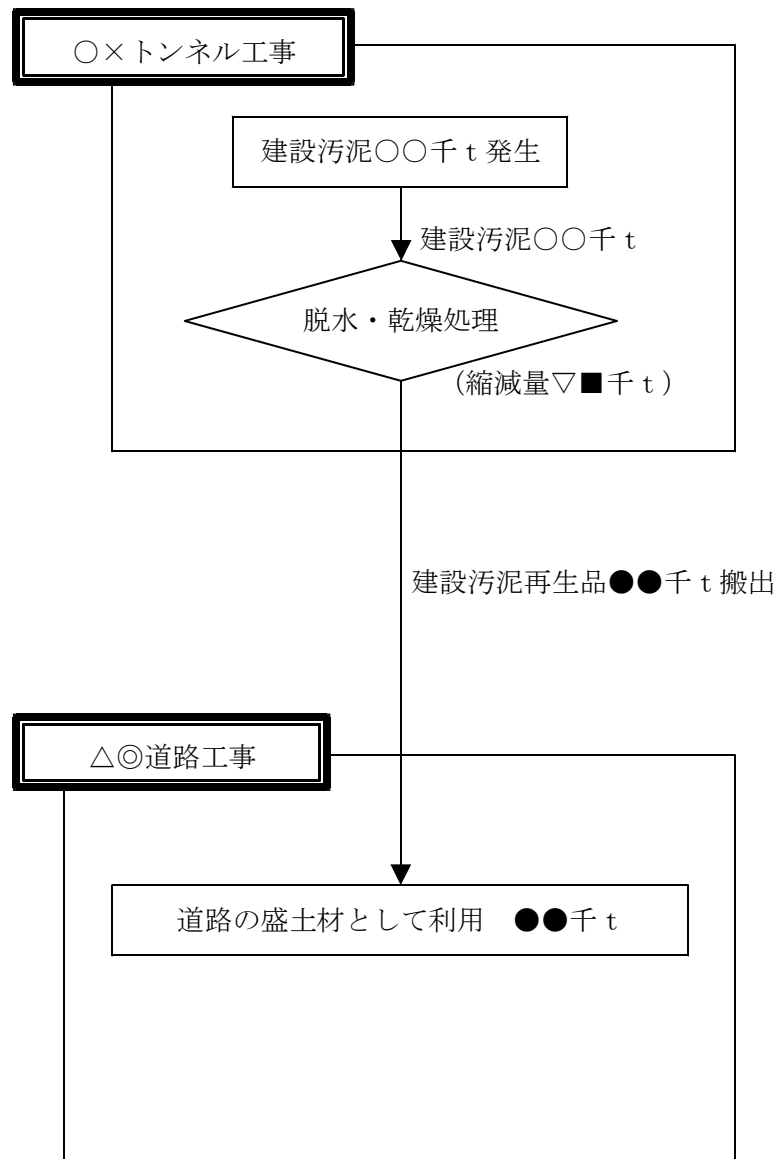
排出事業者	会社名	株式会社○×建設	
	所在地	○○県△△市□□-□□	
	担当	部課係名	△△部××課
		担当者名	建設 太郎
者	連絡先	TEL : (◇◇) ◇◆◇-◇◆◇◆	
発生工事	工事件名	○×トンネル工事	
	工事場所	□□県△△市○○-○○	
	工事概要	総延長○m、仕上がり断面積□m ² (R=■m)	
	発注機関名	×●地方整備局□△事務所	
	発生予定量	○○千 m ³ (t)	
	発生予定時期	平成18年○○月 ~ 平成▲▲年△△月	
利用工事	工事件名	△◎道路工事	
	工事場所	□□県××市△△-○○	
	工事概要	総延長○m (土工部△m、橋梁部×m)	
	発注機関名	□□県★×事務所	
	利用予定量	●●千 m ³ (t)	
	利用予定時期	平成18年●●月 ~ 平成△△年▲▲月	
	利用用途	道路の盛土材	
処理の概要	中間処理の場所・方法	場所：搬出側工事現場内 処理方法：脱水・乾燥	
	再生品の品質	第★種改良土	
	収集運搬の委託先		

	排出事業者	排出工事発注者	利用工事発注者
担当者印 又はサイン	排出 一郎	国土 太郎	交通 次郎

※発生から再生利用に至るフロー図を併せて作成すること

発生予定量、発生予定時期等は、本自ら利用に関係する部分のみである

(様式 2 フロー図) 《記載例 2》



(様式3) <<記載例1>>

中間処理施設を経ない例

建設汚泥リサイクル伝票

伝票No. 〇〇

発 生 側 工 事	工事件名	〇〇道路整備工事		
	工事場所	×〇県〇×市△□-▽□		
	請負社名	株式会社▽△建設		
	所在地	×◎県△■市〇〇-●●		
	担当者名	排出 太郎		
	連絡先	TEL : (××) ●〇●-■□■□		
運搬数量・性状		×〇 m ³ t	処理前	処理後
運 搬 者	会社名	×●運送株式会社		
	所在地	×〇県●◎市▲△-△▲		
	連絡先	TEL : (☆☆) 〇□●-×□◎★		
	車両番号, 車種	車両番号 : ◎◎ □□-△▲ 車種 : 10tダンプ		
	運搬者名	運送 次郎		
中 間 処 理 者	施設等名			
	施設場所			
	会社名			
	所在地			
	連絡先			
	担当者名			
中間処理方法		脱水処理		
再生品品質		第●種改良土		
再生品数量		×〇 m ³ t		
最 終 搬 出 先	施設等名	□△道路整備工事		
	施設場所	×〇県△〇市□×-□▼		
	会社名	株式会社◎●建設		
	所在地	×〇県〇▽市△〇-×□		
	連絡先	TEL : (●×) □●□-■〇×■		
	担当者名	利用 三郎		

	排出事業者	運搬者	搬出先	最終搬出先
担当者印 又はサイン	排出太郎	運送次郎		利用三郎
日付	H18. ×. △	H18. 〇. ▼		H18. □. ◎

(様式3) 《記載例2》

中間処理施設を経由する例

建設汚泥リサイクル伝票

伝票No. 〇〇

発 生 側 工 事	工事件名	○×道路整備工事 (●●工区)		
	工事場所	▼○県◎□市△×-●□		
	請負社名	株式会社●△建設		
	所在地	■×県△◎市○●-●○		
	担当者名	排出 太郎		
	連絡先	TEL : (△○) ×○●-■☆■★		
運搬数量・性状		×○ m ³ (t)	(処理前)	処理後
運 搬 者	会社名	×●運送株式会社		
	所在地	▼○県●◎市▲△-△▲		
	連絡先	TEL : (☆☆) ○□●-×□◎★		
	車両番号, 車種	車両番号 : ◎◎ □□-△▲ 車種 : 4tバキューム車		
	運搬者名	運送 次郎		
中 間 処 理 者	施設等名	○△リサイクルセンター		
	施設場所	▼○県△■市○○-●●		
	会社名	株式会社▽△資源		
	所在地	▼○県△■市○○-●●		
	連絡先	TEL : (××) ●○●-■□■□		
	担当者名	処理 三郎		
中間処理方法		高度脱水処理		
再生品品質		第●種改良土		
再生品数量		〇〇 (m ³) t		
最 終 搬 出 先	施設等名	×○道路整備工事 (□○工区)		
	施設場所	▼○県△○市□×-□▼		
	会社名	株式会社××建設		
	所在地	×○県●■市○★-×●		
	連絡先	TEL : (□◎) ○●★-■××●		
	担当者名	利用 四郎		

	排出事業者	運搬者	搬出先	最終搬出先
担当者印 又はサイン	排出太郎	運送次郎	処理三郎	利用四郎
日付	H18. ×. △	H18. ○. ▼	H18. ●. ▽	H18. □. ◎

(様式4) <<記載例1>>

発生した建設汚泥を全て同一現場内で自ら利用した場合
建設汚泥再資源化等実績書

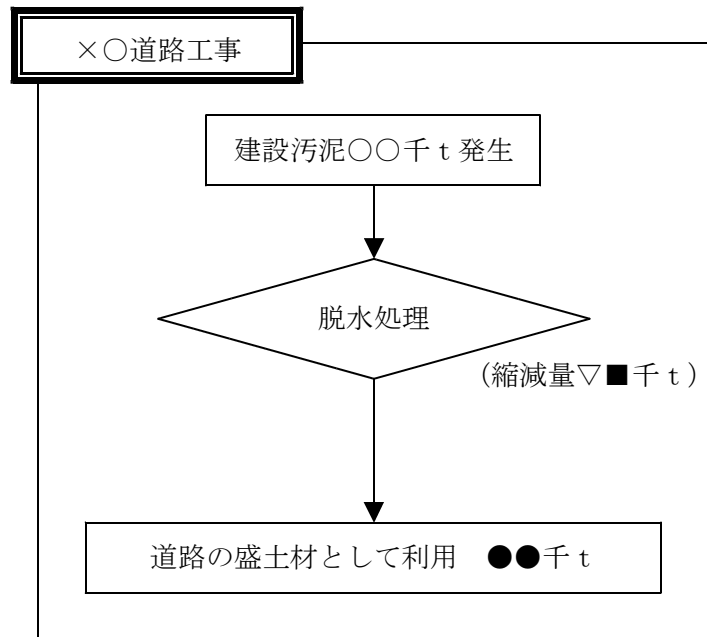
排出事業者		排出工事	
会社名	株式会社■◇建設	工事件名	×○道路工事
所在地	□◇県●◎市▲△-△▲	工事場所	△△県○○市××-○○
部課係名	△○部▽×課	工事概要	総延長○m
担当者名	建設 一郎	発注機関名	☆×地方整備局◇△事務所
連絡先	(○●) ○●○-●○●○	発生量, 発生時期	発生量: ○○千 m ³ t 発生時期: 平成18年●○月 ~ 平成▲△年△▲月
中間処理する場所		施設名称	
所在地	現場内	担当者名	
中間処理方法	脱水処理	連絡先	
最終的な搬出先①		最終的な搬出先②	
名称	×○道路工事	名称	
所在地	△△県○○市××-○○	所在地	
利用用途・品質	用途: 道路の盛土材 品質: 第★種改良土	利用用途・品質	
搬出量	●●千 m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名	株式会社■◇建設	会社名	
担当者名	建設 一郎	担当者名	
連絡先	(○●) ○●○-●○●○	連絡先	
最終的な搬出先③		最終的な搬出先④	
名称		名称	
所在地		所在地	
利用用途・品質		利用用途・品質	
搬出量	m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名		会社名	
担当者名		担当者名	
連絡先		連絡先	

※発生から再生利用・最終処分に至るフロー図・位置図を併せて作成すること

中間処理する場所が2箇所以上ある場合や、最終的な搬出先が5箇所以上ある場合には、本頁をコピーして作成すること

※最終的な搬出先については、製品として販売した場合にはその製造工場までとする。また、最終的な搬出先が建設工事である場合には、担当者にはその元請業者の担当者名を記載すること。

(様式 4 フロー図) ≪記載例 1≫



(様式4) <<記載例2>>

一部を他現場で自ら利用した場合(中間処理施設は経由せず)

建設汚泥再資源化等実績書

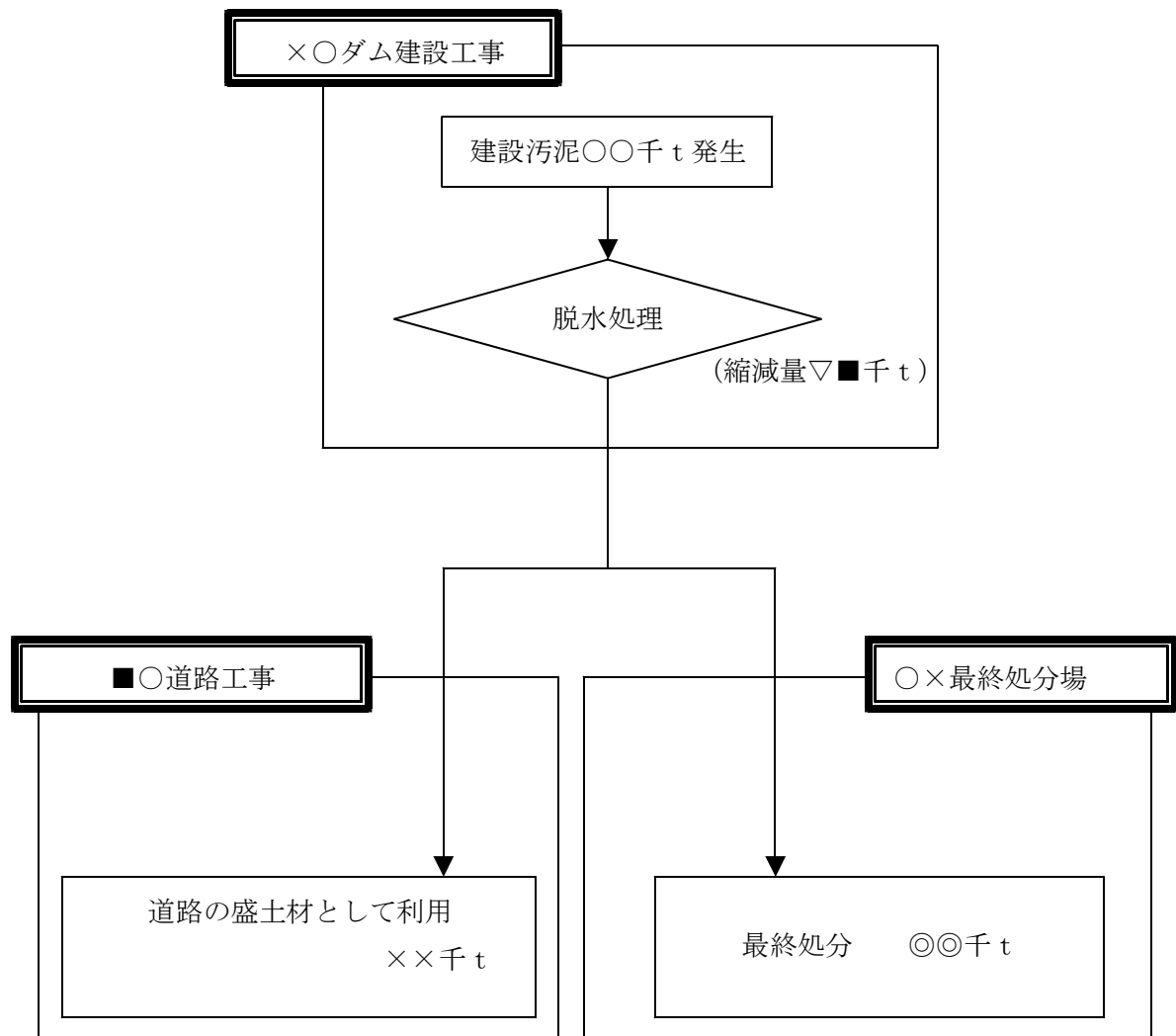
排出事業者		排出工事	
会社名	株式会社●◇建設	工事件名	×○ダム建設工事
所在地	□◇県●◎市▲△-△▲	工事場所	△△県○○市××-○○
部課係名	△○部▽×課	工事概要	堤高◎m、堤頂長■m
担当者名	建設 一郎	発注機関名	☆×地方整備局◇△事務所
連絡先	(○×) ×●□-●▽●■	発生量、発生時期	発生量:○○千 m ³ (t) 発生時期:平成18年●○月 ~ 平成▲△年△▲月
中間処理する場所		施設名称	
所在地	同上	担当者名	
中間処理方法	脱水処理	連絡先	
最終的な搬出先①		最終的な搬出先②	
名称	■○道路工事	名称	○×最終処分場
所在地	△△県○▽市◎×-□◆	所在地	■■県××市○○-○○
利用用途・品質	用途:道路の盛土材 品質:第★種改良土	利用用途・品質	管理型最終処分場
搬出量	××千 m ³ (t)	搬出量	◎◎千 m ³ (t)
会社名	株式会社■◇建設	会社名	株式会社○▼
担当者名	最終 太郎	担当者名	処理 次郎
連絡先	(○△) ×○■-○◇×◎	連絡先	(○●) ○●○-●○●○
最終的な搬出先③		最終的な搬出先④	
名称		名称	
所在地		所在地	
利用用途・品質		利用用途・品質	
搬出量	m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名		会社名	
担当者名		担当者名	
連絡先		連絡先	

※発生から再生利用・最終処分に至るフロー図・位置図を併せて作成すること

中間処理する場所が2箇所以上ある場合や、最終的な搬出先が5箇所以上ある場合には、本頁をコピーして作成すること

※最終的な搬出先については、製品として販売した場合にはその製造工場までとする。また、最終的な搬出先が建設工事である場合には、担当者にはその元請業者の担当者名を記載すること。

(様式 4 フロー図) ≪記載例 2≫



建設汚泥再資源化等実績書

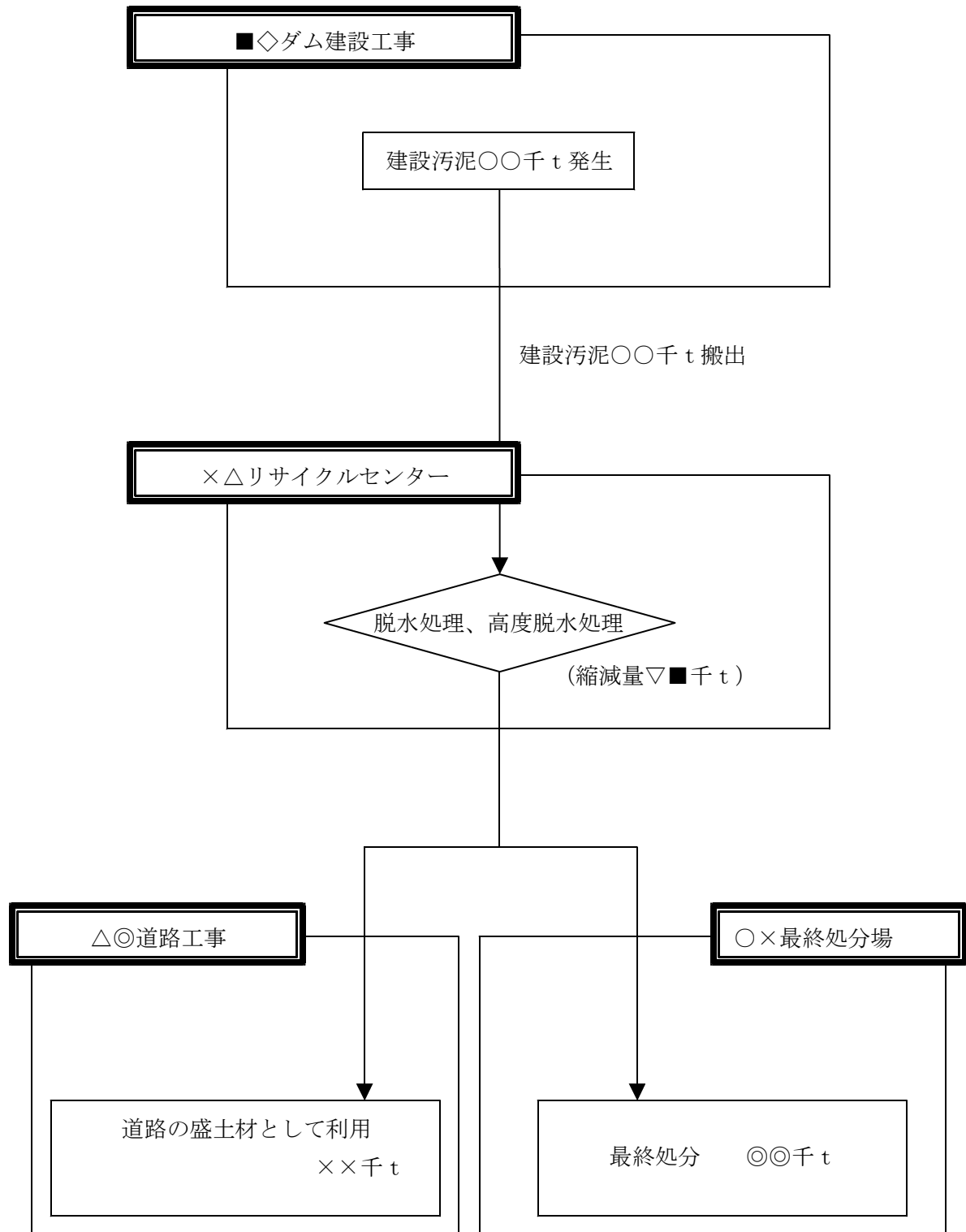
排出事業者		排出工事	
会社名	株式会社×●建設	工事件名	■◇ダム建設工事
所在地	□◇県●◎市▲△-△▲	工事場所	△△県○○市××-○○
部課係名	△○部▽×課	工事概要	堤高◎m、堤頂長■m
担当者名	建設 一郎	発注機関名	☆×地方整備局◇△事務所
連絡先	(○×) ×●□-●▽●■	発生量、発生時期	発生量: ○○千 m ³ (t) 発生時期: 平成18年●○月 ~ 平成▲△年△▲月
中間処理する場所		施設名称	
所在地	△△県××市△△-△△	担当者名	中間 二郎
中間処理方法	脱水処理、高度脱水処理	連絡先	(●○) ●○○-○○●●
最終的な搬出先①		最終的な搬出先②	
名称	△◎道路工事	名称	○×最終処分場
所在地	△△県□□市▽▽-××	所在地	■●県××市○○-○○
利用用途・品質	用途: 道路の盛土材 品質: 第★種改良土	利用用途・品質	管理型最終処分場
搬出量	××千 m ³ (t)	搬出量	◎◎千 m ³ (t)
会社名	株式会社○●建設	会社名	株式会社○▼
担当者名	建設 三郎	担当者名	処理 次郎
連絡先	(×●) □○×-▼○□×	連絡先	(○●) ○●○-●○○○
最終的な搬出先③		最終的な搬出先④	
名称		名称	
所在地		所在地	
利用用途・品質		利用用途・品質	
搬出量	m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名		会社名	
担当者名		担当者名	
連絡先		連絡先	

※発生から再生利用・最終処分に至るフロー図・位置図を併せて作成すること

中間処理する場所が2箇所以上ある場合や、最終的な搬出先が5箇所以上ある場合には、本頁をコピーして作成すること

※最終的な搬出先については、製品として販売した場合にはその製造工場までとする。また、最終的な搬出先が建設工事である場合には、担当者にはその元請業者の担当者名を記載すること。

(様式 4 フロー図) 《記載例 3》



(様式4)《記載例4》

建設汚泥再資源化等実績書

排出事業者		排出工事	
会社名	株式会社×●建設	工事件名	■◇ダム建設工事
所在地	□◇県●◎市▲△-△▲	工事場所	△△県○○市××-○○
部課係名	△○部▽×課	工事概要	堤高◎m、堤頂長■m
担当者名	建設 一郎	発注機関名	☆×地方整備局◇△事務所
連絡先	(○×) ×●□-●▽●■	発生量, 発生時期	発生量: ○○千 m ³ t 発生時期: 平成18年●○月 ~ 平成▲△年△▲月
中間処理する場所		施設名称	
所在地	○○県××市△△-△△	担当者名	中間 二郎
中間処理方法	焼成処理	連絡先	(●○) ●○●-○●○○●
最終的な搬出先①		最終的な搬出先②	
名称	×△リサイクルセンター	名称	
所在地	○○県××市△△-△△	所在地	
利用用途・品質	ブロック (製品販売)	利用用途・品質	
搬出量	●●千 m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名	株式会社××	会社名	
担当者名	中間 二郎	担当者名	
連絡先	(●○) ●○●-○●○○●	連絡先	
最終的な搬出先③		最終的な搬出先④	
名称		名称	
所在地		所在地	
利用用途・品質		利用用途・品質	
搬出量	m ³ t	搬出量	m ³ t
会社名		会社名	
担当者名		担当者名	
連絡先		連絡先	

※発生から再生利用・最終処分に至るフロー図・位置図を併せて作成すること

中間処理する場所が2箇所以上ある場合や、最終的な搬出先が5箇所以上ある場合には、本頁をコピーして作成すること

※最終的な搬出先については、製品として販売した場合にはその製造工場までとする。また、最終的な搬出先が建設工事である場合には、担当者にはその元請業者の担当者名を記載すること。

(様式 4 フロー図) ≪記載例 4≫

